

# 医療関係者から見た MA 部門への期待 — 医療関係者は MA 担当者に何を求めているのか —

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

## 【講演内容】

13:00～13:05 開会挨拶 寺尾 允男(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)

## 医療関係者からの MA 部門への期待と要望

13:05～13:55 内田 一郎(大阪大学大学院医学系研究科バイオデザイン学共同研究講座招聘教授)

13:55～14:05 休 憩

14:05～14:55 井口 太郎(大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学講師)

14:55～15:10 休 憩

15:10～16:00 香坂 俊(慶應義塾大学循環器内科専任講師)

16:00～17:00 総合討論

共同司会：大村 稔(アステラス製薬株式会社メディカルアフェアーズ本部  
メディカルサイエンス部次長)

岩崎 幸司(大阪大学医学部附属病院未来医療開発部臨床研究センター特任教授)

## 【日時および場所】

2018年1月29日(月) 13:00～17:00 (受付開始予定 12:30)

日本薬学会 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15 地下2階)

日本の製薬企業において、メディカルアフェアーズ(MA)部門/機能の必要性が高まってきており、この数年間に新たに MA 部門を構築したり、既存の MA 部門の機能を拡充するなどの動きが活発になってきています。その一方で、製薬企業各社で MA 部門の役割が異なり、その活動内容が医療関係者からは分かりづらいとの声があがっています。

現時点での MA 部門の機能は、各疾患領域の最先端をリードされている KTL(Key Thought Leader)/KOL(Key Opinion Leader)との高度な医学・薬学・科学的情報交換の中心的役割を担う MSL(Medical Science Liaison)、臨床研究やデータベース研究によるエビデンス創出とそのパブリケーション、医薬品等の適正使用を推進するための医薬情報の発信・収集など多岐にわたっています。

製薬企業としては、これらの活動を通して医薬品等の価値を最適化することを目指していますが、これらの活動が診療と研究の現場で活躍している医師からはどのように見えているのか？何をすれば製薬企業が目的とする MA 部門の機能が、診療と研究の第一線をリードする医師に理解され、双方にとってよい関係を構築することができるのか？等について本研修会ではディスカッションを進めます。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同いただき、多くの皆様にご参加いただきますようご案内申しあげます。

レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 専門コース(第216回)  
**医療関係者から見た MA 部門への期待**  
**—医療関係者は MA 担当者に何を求められているのか—**

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

後援 日本製薬団体連合会  
 日本製薬工業協会  
 公益社団法人東京医薬品工業協会  
 関西医薬品協会  
 日本 OTC 医薬品協会

日本ジェネリック製薬協会  
 米国研究製薬工業協会(PhRMA)  
 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)  
 一般社団法人日本 CRO 協会

一般社団法人日本医薬品卸売業連合会  
 公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団  
 公益財団法人 MR 認定センター  
 日本 CSO 協会

**【申込要領】**

**1. 申込方法**

受講希望の方は財団ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) より申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

**2. 受講料(消費税込)：テキスト代を含みます。**

- ・法人会員 (法人会員は1口につき4名が会員扱い) / 個人会員 12,000 円
- ・レギュラトリーサイエンス エキスパート認定に係る登録者 (MA 分野対象) 10,000 円
- ・非会員 17,000 円
- ・行政 / アカデミア / 医療機関 / 学生 5,000 円

※受講者の方は、以下の書籍および DVD を特別価格でご購入いただけます。申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

- <新刊> 日本は慢性疼痛にどう挑戦していくのか ..... 2,500 円
- 知っておきたい薬害訴訟の実際 ..... 2,500 円
- 微生物迅速試験法 ..... 9,300 円
- PV の概要とノウハウ ..... 7,400 円
- 基礎から学ぶ医療経済評価 ..... 5,500 円
- 日英対訳 日本における医薬品のリスクマネジメント 第2版 ..... 11,000 円
- 日本の薬害事件(日英対訳版) ..... 9,300 円
- 知っておきたい薬害の教訓 ..... 2,400 円
- 知っておきたい薬害の知識 ..... 1,700 円
- 映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD) 日本  
 日本の薬害事件(文部科学省特別選定作品) ..... 88,500 円  
 イレッサ事件(文部科学省選定作品) / スモン事件(文部科学省特別選定作品) / クロロキン事件 ..... 各 44,000 円
- 温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD) ソリブジン事件 / 薬害肝炎事件 / 陣痛促進剤による被害 / 薬害エイズ事件 / サリドマイド ..... 各 7,400 円  
 筋短縮症 ..... 4,600 円

**3. レギュラトリーサイエンス エキスパート認定単位**

医薬品関係企業、行政機関、アカデミアおよび医療機関等の皆様に、最新の情報や知識等に関する研修の機会を利用し、研修実績を客観的に認定することで個人のモチベーションを高めスキルアップの持続を図っていただく制度です。当財団が行っている所定の研修会受講者をレギュラトリーサイエンス エキスパートとして認定いたします。

登録・認定の対象分野には MA、開発、PV、品質、薬害教育があります。詳細は財団ホームページ「認定制度」をご覧ください。

本研修会は 登録単位 全分野：1単位が、付与されます。

**4. 注意事項**

- \* 振込依頼書のご依頼欄には、必ず **受付番号と受講者氏名(カタカナ)** をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- \* 受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAX.での受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- \* 現金送金をご遠慮願います。
- \* 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- \* お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- \* 個人会員の方、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定登録者の方は、ご本人の出席に限ります。
- \* 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

**5. 問い合わせ先**

一般財団法人 **医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団** 研修担当；電話 03-3400-5644

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / <http://www.pmrj.jp>

演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。